

つくばクラフトビアフェスト2022 プラカップゴミゼロの取り組みご紹介



つくばクラフトビアフェスト2022について

<つくばビアフェスト2022>

- ・全国のクラフトビールが茨城県つくば市の「つくばセンター広場」に結集する人気のビアフェス。
- ・2012年から毎年開催(2020～2021は中止)

■ 7月22日（金）～7月24日（日）

■ 出店数

クラフトビール：25店舗

飲食店：14店舗

■ 主催

つくばクラフトビアフェスト実行委員会

■ 共催

つくば市（つくばペデカフェプロジェクト）

つくばセンター地区活性化協議会

つくばまちなかデザイン株式会社

■ 共創パートナー



Asahi
アサヒユウアス

- ・全体プロデュース
- ・アップサイクル
ステーション運営
- ・リユースカップ運用


Tsukuba Craft+Beer Fest

- ・イベント主催
- ・クラフトブルワリー
調整

 JFE

- ・ECOFeel CUP供給
(スチールカップ)
- ・広報、PR

Panasonic

- ・森のタンブラー供給

環境ソリューション企業
 **HAMADA**

- ・プラカップ回収洗浄
- ・ゴミの組成調査

 **三井化学**

- ・3Dプリンターで
プラカップアップ
サイクル(イス製造)


ホテル日航つくば

- ・リユースカップ洗浄

クラフトビールイベントのゴミ課題

①使い捨てプラスチックカップ



1回のイベントで数万個の使い捨てカップが廃棄・焼却

②使い捨て食品トレー



多種多様な容器が大量に廃棄・焼却

- ・ 1回のイベントの**ゴミ焼却により数トンのCO2が排出**される。
- ・ ゴミ削減の取り組みは、運営や出店事業者まかせとなっており、安価なプラ容器の使用が拡大。

プラカップの焼却ゼロを目指した運営実施

- (1)「森のタンブラー」「ECOFeel CUP」をリユースカップとして活用し、徹底的にリデュース
- (2) やむなく使う使い捨てプラカップは回収し、アップサイクル

Reduce & Upcycle で焼却プラカップをゼロへ

①リユースカップによるReduce

リユースカップおよびマイカップを**全来場者**へ導入。
デポジット500円。返却せずに持ち帰ってもOK。



②マイカップによるReduce

オリジナルデザインを販売。
ECOFeel CUP 1,000円、森のグラウラー 2,000円。



③使い捨てカップの回収洗浄によるUpcycle

「飲み比べセット」などでやむなく使用するプラカップについては**素材を統一**。
回収洗浄しアップサイクル。**焼却しないことでCO2を固定化**。



複数素材が混ざるとリサイクルできないためPP製に統一

プラカップ再生PP



超大型3Dプリンターで
アップサイクルスツール



告知・アップサイクステーション

企画告知（アサヒユウアスInstagramより）



アップサイクステーション



会場風景



プラカップ削減効果

- ・リユースカップおよびマイカップの合計展開数は5,686個（マイグラスの持ち込みはカウント外）
- ・**3日間での焼却プラカップ削減数 約35,000個 CO2換算で約2.6トン**（製造～輸送～焼却まで）
- ・回収プラカップ全体量は約35kg。そのうち指定PP製が約30kg。⇒回収プラカップはアップサイクル。
当初想定の1/3程度であり、リデュース取り組みが成功。

	リユースカップ展開数		
	貸出数	返却数	販売数
森タン	951	686	265
ECOFeel	4,381	2,976	1,405
合計	5,332	3,662	1,670

オリジナルカップ販売数	
森タン	69
ECOFeel	180
森グラ	27
合計	276

2019森タン持ち込み数	
合計	78

	プラカップ削減数
リユースカップによる削減	28,668
飲み比べプラカップ回収	6,700
合計	35,368

※全ブルワリーの売上金額より推定